



シラバス参照

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度「教養の森」科目群【科目群1】**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	「学問」と私1		
担当教員	阿部 秀二郎 遠藤 史 藤永 博 吉村 典久 吉村 旭輝 渡部 幹雄 菅原 真弓 天野 雅郎 高橋 健一 永井 邦彦 鯉坂 恒夫 尾久土 正己 中串 孝志		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	金 5	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 人数制限有（25名）、高大連携受講者は別枠受講可		
科目名（英語表記）	My disciplines and I vol.1		
授業の概要・ねらい	<p>本学の教員にも、大学生だった時は無論ありました。普通の大学生が何らかのきっかけで何らかの学問に出会い、それを何らかの縁によって一生の仕事として選んだ結果、今こうして本学の教員としてあります。通常は聞くことがないであろう教員の「学問」との出会いと今をオムニバスで語る授業です。</p> <p>①どうしてその学問を選んだのか②どのようなきっかけで専門とするテーマに出会ったのか③今、どのようなテーマに関心を持っているのか④自らの専門とする「学問」の魅力、などについてそれぞれ講義形式で語った後、受講者との質疑応答時間を長く設けて双方向性の授業形態とします。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 「浮世絵」と私：菅原真弓（「教養の森」センター） 3 「情報学」と私：鯉坂恒夫（システム工学部） 4 「経済学」と私：阿部秀二郎（経済学部） 5 「社会教育施設研究」と私：渡部幹雄（附属図書館） 6 「天文学」と私：尾久土正己（「教養の森」センター・観光学部） 7 「芸能史研究」と私：吉村旭輝（紀州経済史文化史研究所） 8 「イタリア美術」と私：高橋健一（教育学部） 9 「惑星」と私：中串孝志（観光学部） 10 「言語学」と私：遠藤史（経済学部） 11 未定（6/19） 12 「経営学」と私：吉村典久 13 「体育学」と「数学」と私：藤永博（経済学部） 14 「哲学」と私：天野雅郎（「教養の森」センター） 15 まとめ 		
到達目標	教員それぞれの研究分野についての講義を受けることで、それぞれの学問分野に広く豊かな関心を持つこと、また様々な研究分野について理解しようと努め、自らの関心の幅を広げていくことを到達目標とする。		
成績評価の方法	小レポート（リアクションシートの記述）20%、授業内での発言20%、期末レポート60%		
教科書	なし		
参考書・参考文献	なし		
履修上の注意・メッセージ	授業では毎回、授業担当教員が作成した資料を配布します。資料にはそれぞれの分野の学びを深化させる参考図書を提示しますので、授業を「聞く」だけではなく、授業後、積極的にこれらを読むようにして下さい。また双方向性の授業を企図しますので、一回の授業で必ず一回は発言するよう心掛けて下さい。		
履修する上で必要な事項	各回の授業では必ず次回の予告をし、予習しておくべき事柄（読んでおくべき文献など）があれば告知します。また各担当者の専門分野について本学HP「研究者総覧」などを事前に確認し、当該分野、そして研究者自身についての関心を高めておいて授業に参加してください。		

受講を推奨する関連科目	「教養の森」ゼミナール
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。
その他連絡事項	

